

北海道浮魚ニュース

平成 19(2007)年度 4 号 (通巻 No.237)

2007 年 6 月 21 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋イカ類資源調査結果

- ・ スルメイカは道東沖に広く分布。
- ・ 分布密度は前年を上回る。

調査期間 : 2007 年 6 月 13 ~ 20 日

調査海域 : 道東太平洋

調査船 : 北辰丸(釧路水産試験場所属), イカ釣機 6 台装備

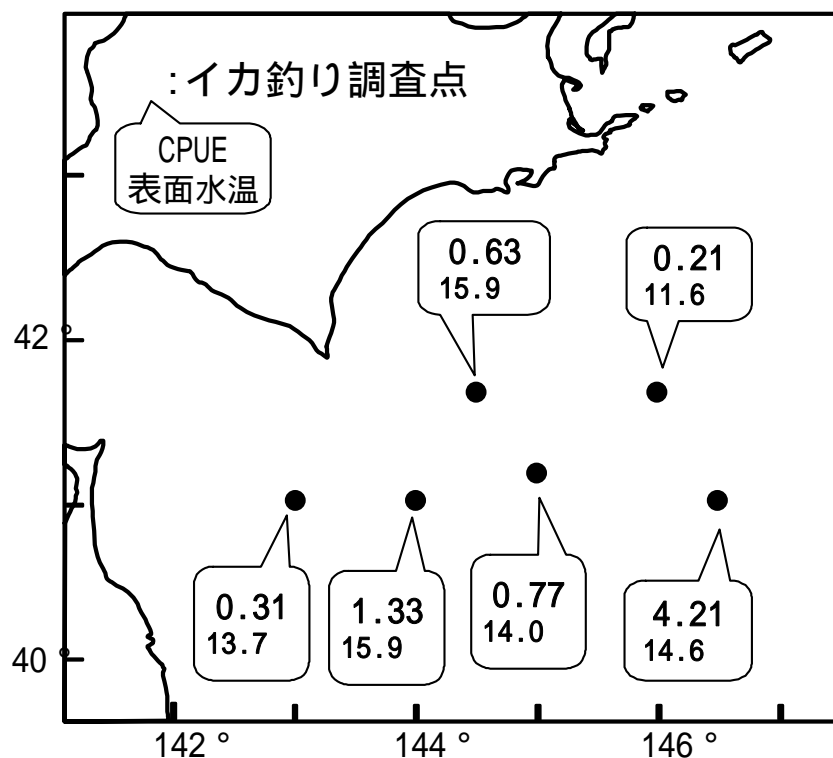


図 1 2007 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面水温
分布密度は CPUE(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)で表示。

1. 水温分布 (図 1)

調査点の表面水温は 11.6 ~ 15.9 で, 前年よりも約 5 高くなっていました。

2. 分布密度 (図 1, 2)

調査を行った 6 調査点すべてでスルメイカが漁獲され, 分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.21 ~ 4.21 でした (図 1)。平均 CPUE は 1.24 で, 前年 (0.16) を上回りました (図 2)。

3. スルメイカの大きさ (図3)

スルメイカの外套長 (胴長) は 10 ~ 19cm でした。モード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 14cm で、前年(16cm)より 2cm 小さくなっていました。

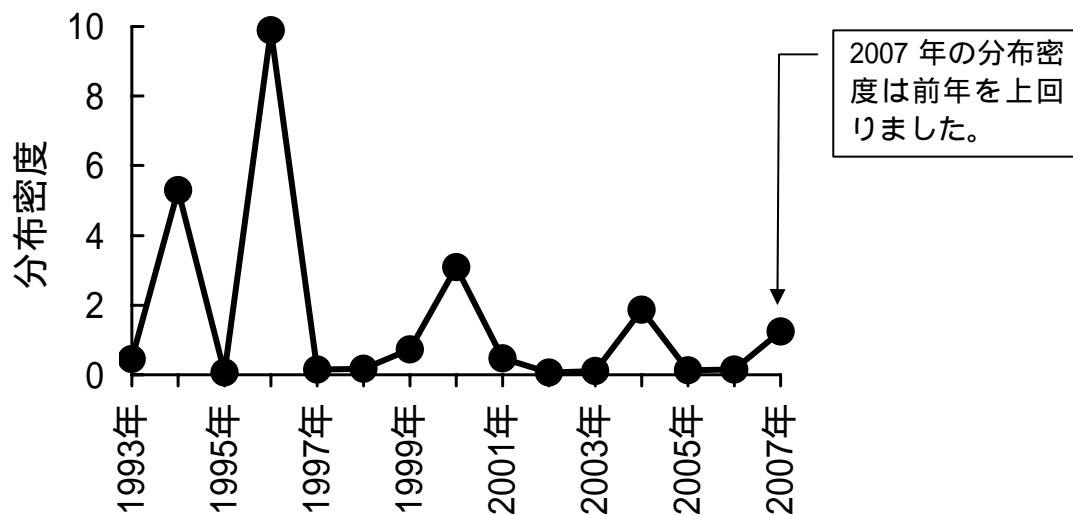


図2 スルメイカの分布密度の経年変化
分布密度は各調査点の CPUE の平均で示した。

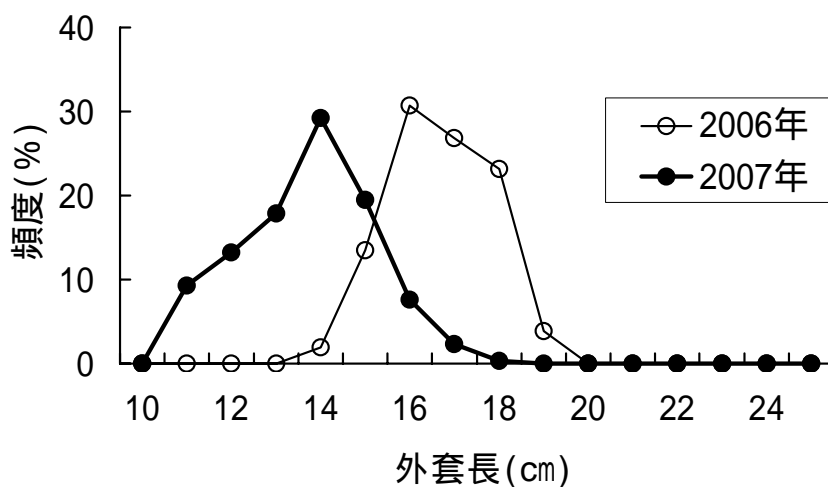
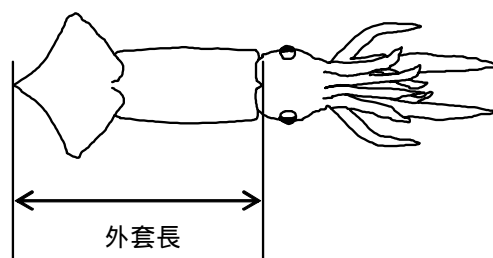


図3 スルメイカの外套長組成